

## 2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 2 月 26 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	松下 幸生
研究課題	中小製造業における資源の依存性—高度経済成長期を中心とした動態的変遷—				
研究キーワード	中小企業 製造業 下請 資源の依存性 長期継続 的取引	当年度計画に対する 達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの 成果が達成できた		
関連する SDGs項目	9. 産業と技術革新の基 盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>松下[2023a]において記した課題の一端に取り組んだ。松下[2023b]では長期継続的取引にかかる先行研究の再整理をつうじて、時代ごとに分類したできごとを松下の提示している表「発注側企業の発注先企業（中小製造業）に対する依存性が低い状態」に適用できそうだと述べるに至った。</p> <p>また、特定非営利法人の建設政策研究所において約 10 年に一回発行している首都圏建設労働組合基本調査の一端に携わっていること、ならびに、経済研究所における荒川プロジェクト（労働観の変遷）における活動を実施している。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 松下幸生[2023a], 「外注取引関係にある注文生産をしている企業に対する資源の依存性—中小の部品・製品メーカーにおける劣位性—」, 日本中小企業学会編, 『日本中小企業学会論集』, 第 42 集, pp.166-179, 同友館.</li></ul> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 松下幸生[2023b], 「資源の依存性 3つの要因からみる組織間関係の動態的な変遷（上）—長期継続的取引にかかる先行研究の再整理—」, 千葉商科大学子農大学会編, 『千葉商大論叢』, 第 61 巻 2 号, pp.95-123.</li></ul> <p>【学会発表等】</p> <p>なし</p> <p>3. 主な経費</p> <p>資料購入、電子機器と同消耗品の購入、ならびに、学会関連に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">(本文は <u>2ページ以内</u>にまとめること)</p>					